

2024 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 看護学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義演習 | | | | |
|--|----------------------------|--|---------------------|------|-------------------|---|--|--|--|--|
| 科 目 名 | 成人援助論IV(がん看護・終末期看護) | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) | | | | |
| 対 象 学 年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 後期 | 教室名 | 2年生教室 | | | | |
| 担 当 教 員 | 衣笠久美子 山根綾香 三浦純子 | 実務経験と その関連資格 | 医療施設にて看護師として勤務している。 | | | | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | | | | | |
| 人間の生と死について学び、生命への畏敬、人間の尊厳について考えるとともに、日本人の死生観について概観する。人生の終末を迎える人とその家族に対して、その人らしい悔いのない人生をおくつもらうためのケアについて学び、遺族へのグリーフケアについて学習する。また、人生最後の時を迎える人の看取りのケア、エンゼルメイクについて学ぶ。 | | | | | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | | | | | |
| 定期試験 80% レポート点20% | | | | | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | | | | | |
| 成人看護学 がん看護(南江堂) 成人看護学 エンドオブライフケア(南江堂) 国民衛生の動向(厚生労働省) | | | | | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | | | | | |
| 授業を理解するために予習・復習を通して、自主的に調べ学習を行うこと。 | | | | | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | | | | | |
| 成人期の発達段階や家族の思いを汲み取り、臨地実習につながるような学びにしましょう。 | | | | | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | | | | | |
| 第1回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 緩和ケアにおける看護の実際を理解できる。 緩和ケア総論 チームアプローチの必要性について学ぶ:衣笠 | | | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) | | | | |
| 第2回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 緩和ケアにおける看護の実際を理解できる。 症状マネジメントの考え方について学ぶ。身体的・精神面・各症状・症状緩和について学ぶ:衣笠 | | | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) | | | | |
| 第3回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | 緩和ケアにおける看護の実際を理解できる。 症状マネジメント:痛みのマネジメント(患者・家族教育)、痛みの治療に使用する薬剤、全人的苦痛とはについて学ぶ :衣笠 | | | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) | | | | |
| 第4回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | がん医療における専門職連携の実際が理解できる。 緩和ケアの歴史と現状、社会の動向、がん医療におけるチーム医療の必要性、がん医療の専門職、専門職連携における看護師の役割、協働のスキルについて学ぶ:山根 | | | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) | | | | |
| 第5回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定 | がん医療における倫理的課題について理解できる。 がん医療における倫理的課題について、がん医療における看護師による権利擁護と倫理的調整について学ぶ:山根 | | | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) | | | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|----------------|-------------|--|------------|---|
| 第6回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | がん医療における専門職連携の実際が理解できる。 | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 外来・在宅・緩和ケア/ホスピス病棟のそれぞれの場における看護の実際、がん患者の療養の場の意向支援の実際について学ぶ:山根 | | |
| 第7回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 臨死期の看護について理解できる | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 死が近づいた人の身体特徴のとらえ方、身体変化とアセスメントについて学ぶ:三浦 | | |
| 第8回 演習実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 看取りケアを理解できる。 | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 看取りのケアの看護技術の実際について学ぶ:三浦 | | |
| 第9回 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | 看取りのケアを理解できる。 | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 看取りのケアの看護技術の実際について学ぶ:三浦 | | |
| 第10回 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | エンドオブライフケアとは何かを理解できる。 | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | エンドオブライフケアの時期にある人の全人的苦痛と家族の心理過程を学ぶ:三浦 | | |
| 第11回 講義実習形式 | 授業を通じての到達目標 | エンドオブライフケアに関わる人への家族、親近者支援が理解できる。 | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | エンドオブライフの時期ある人の家族や親近者への支援の目的と看護の役割について学ぶ:三浦 | | |
| 第12回 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | アドバンスケアプランニングとは何かを理解できる。 | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | アドバンスケアプランニング-エンドオブライフの時期の意思決定支援について学ぶ。 | | |
| 第13回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | がん患者の化学療法、放射線療法について理解できる | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 放射線治療とは何かについて学ぶ①:三浦 | | |
| 第14回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | がん患者の化学療法、放射線療法について理解できる | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | 放射線治療、被ばく、防護技術について学ぶ②:三浦 | | |
| 第15回 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | がん患者、終末期看護について理解できる。 | 教科書、配布資料など | 事前学習:教科書の該当ページを読む(30分) 事後学習:授業の復習(30分) |
| | 各コマにおける授業予定 | まとめ:三浦 | | |